HASHIKAMI 2026年(令和8年)
No.67
11月号（November）

はしかみ議会だより

暮らし 地域を豊かに



郷土の誇りを胸に！

第31回全国消防操法大会が10月31日に東京臨海広域防災公園で開催され、町消防団第5分団が青森県代表として出場しました。結果は24隊中20位。念頭だった全国大会という大舞台で、鍛え上げた技術を堂々と披露しました。

【9月定例会】7年度決算を認定……2～5ページ
【ここが聞きたい】3議員が一般質問……8～11ページ
【質疑あれこれ】8年度一般会計補正予算……8ページ
7年度一般会計・特別会計決算ほか……12～14ページ

第5回 9月定例会

令和8年第5回定例会を9月4日開会し、9月11日閉会しました。
今回の議会では、認定2件、一般会計補正予算案など議案12件、報告2件をいずれも原案のとおり認定、可決しました。
また、一般質問は、3名の議員が行いました。

7年度決算を認定

決算内容の詳細については、8年10月号の広報はしかみに掲載されましたので、前年度との比較を中心とした内容になります。

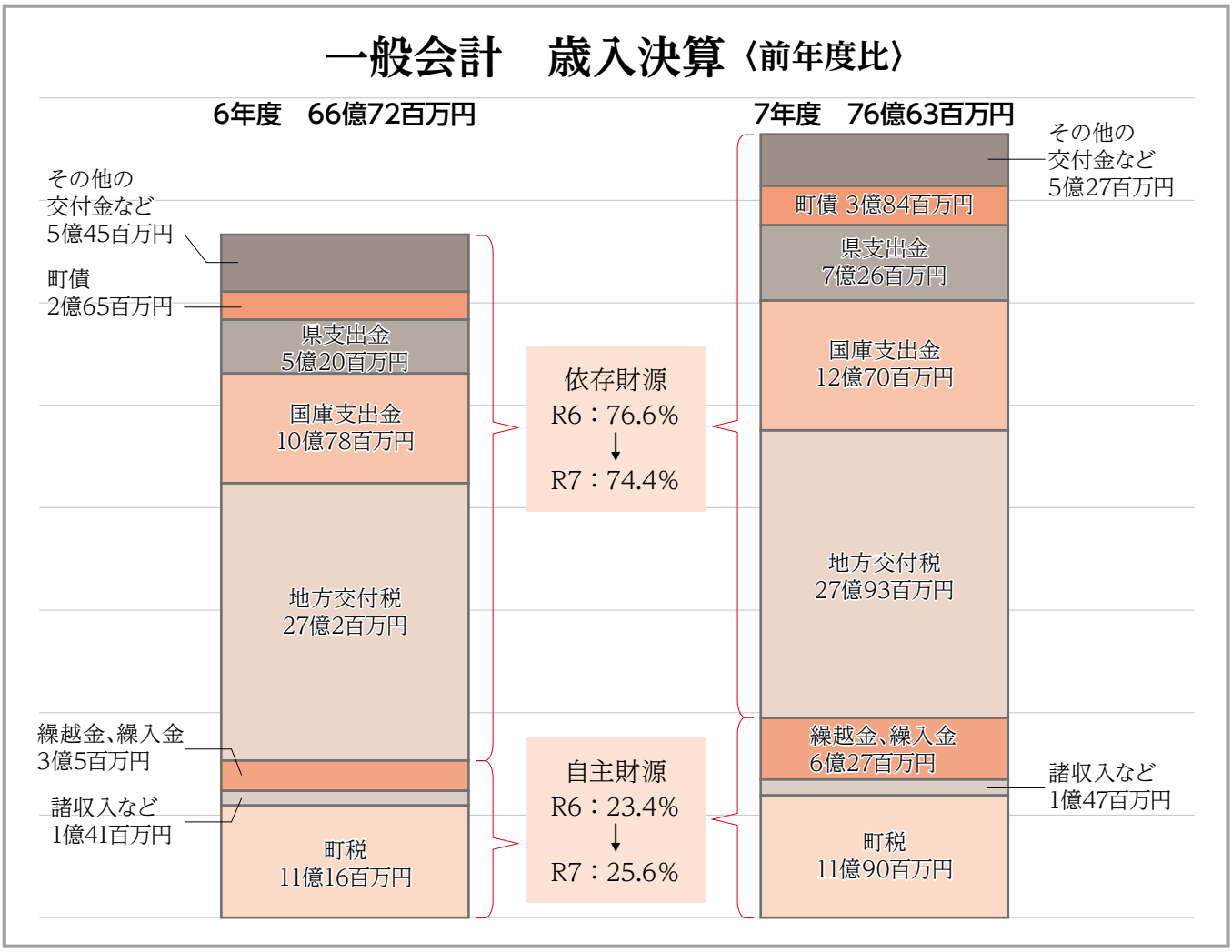
依存財源：74.4%（国・県などから交付・割り当てられるお金）

自主財源：25.6%（町が自力で集められるお金）

3億4,244万4千円の黒字継続中

歳入76億6,342万7千円
歳出72億7,501万円
翌年度へ繰り越すべき財源
4,597万3千円

一般会計　歳入決算〈前年度比〉



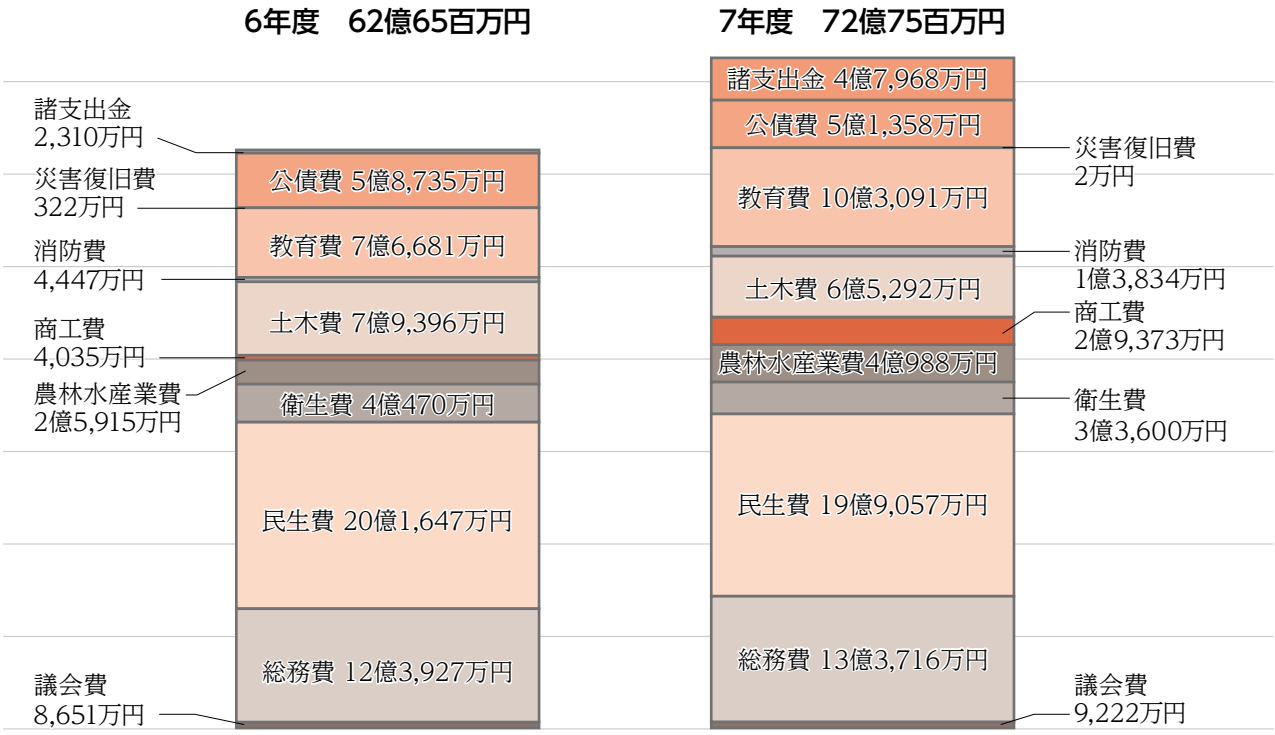
諸収入など：使用料・手数料、分担金・負担金、諸収入など
その他の交付金など：地方消費税交付金、地方譲与税、法人事業税交付金など

【増額となった主なもの】

○国庫支出金
- 児童手当負担金（R6：129,515千円→R7：182,519千円）
- デジタル基盤改革支援補助金（R6：7,674千円→R7：71,555千円）
- 学校施設環境改善交付金（R6：0円→R7：51,291千円）

○県支出金
- 学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金（R6：14,920千円→R7：44,338千円）
- 産地生産基盤パワーアップ事業交付金（R6：0円→R7：155,989千円）

一般会計　目的別　歳出決算額〈前年度比〉



〈増額となった主な理由〉

総　務　費：自治体情報システム標準化・共通化関係業務委託料が6,220万円増額
総　務　費：情報発信ツール関係業務委託料が770万円増額
教　育　費：社会教育複合施設整備基本設計委託料が3,966万円増額
諸 支 出 金：財政調整基金積立金が4億6,546万円増額

〈減額となった主な理由〉

土　木　費：下水道事業会計補助金が1億2,625万円減額
土　木　費：除雪作業委託料が2,033万円減額

7年度　主な事業

○産地生産基盤パワーアップ
事業交付金　1億5,599万円



○石鉢小学校改修事業
3億2,120万円



○はしかみ生活応援商品券
事業費補助金　1億2,308万円



○はしかみ家計支援商品券
事業費補助金　1億1,275万円



○第5分団屯所移転新築工事
7,658万円



○防災備品運搬車　1,428万円

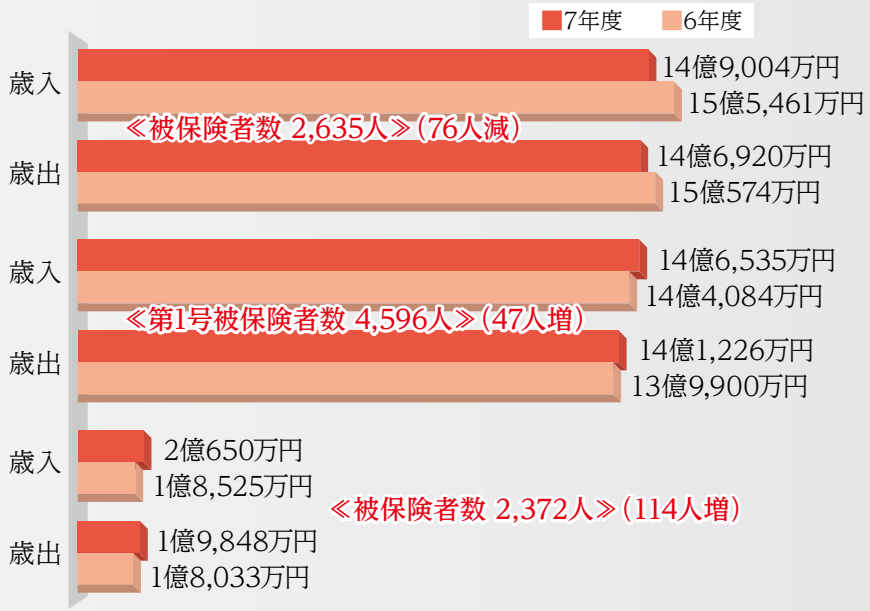


特別会計　歳入歳出決算額〈前年度比〉

国民健康保険特別会計
歳入の財源不足等による法定外の繰入れは10年連続0円。

介護保険特別会計
総務費、保険給付費、地域支援事業費、諸支出金の増額により歳出増額。

後期高齢者医療特別会計
後期高齢者医療広域連合納付金の増額により歳出増額。



被保険者数、区域内加入率は令和8年3月末。（　）内は前年度比。

下水道事業会計決算額

区　分	7年度	6年度	対前年度伸び率
収益的収入	2億4,139万円	3億7,232万円	△35.2%
収益的支出	2億7,699万円	2億8,536万円	△2.9%
資本的収入	2億2,448万円	2億1,305万円	5.4%
資本的支出	2億3,455万円	2億2,738万円	3.2%

※本町の下水道事業は、「公共下水道事業」と「漁業集落排水事業」の2つがあり、6年度から地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用し、発生主義に基づく複式簿記で行っています。

▽7年度健全化判断比率・資金不足比率

〇健全化判断比率　実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため比率はありません。実質公債費比率は9.2%、将来負担比率はマイナスのため比率はありません。

〇資金不足比率　下水道事業に係る資金不足額が生じていないため比率はありません。

【監査意見】デジタル時代を見据え 日々の行財政運営の検証・見直しを

代表監査委員　境　栄治
監査委員　下沢育男



▽一般・特別会計
7年度一般会計・各特別会計の予算の執行および事務処理は、適法かつ適正な決算であると認める。
歳入面では、自主財源の根幹である町税の収納率が前年度に比べ0.04ポイント減少しており、自主財源の充実確保が図られるよう期待する。
物価高騰などが依然として続く状況が予見される中で、人口減少や少子高齢化などの進展による多様化・複雑化する課題を解決していくため、町が行う施策・事業については、町民のニーズや社会情勢を的確に捉えながら、立案・実行していくとともに、その評価を行い、適切に進捗管理を行っていくことが重要である。
最少の経費で最大の効果を挙げるためにも、デジタル時代を見据え日々の行政運営・財政運営の検証・見直しを繰り返すとともに、国・県の動向も注視しながら、若者や女性も含め、多様な関係者を巻き込むという考えも取り入れ、町民・議会・行政が一つとなり、地域を支え合い、ともに協働のまちを築き上げていくことに期待する。

▽下水道事業会計
一層の経営の健全化・効率化を進め、将来にわたり安定的な下水道サービスの提供を望む。

▽財政健全化指標
昨年度と同様に財政の健全化が保たれている。今後もこの状況を維持することを切望する。

基金現在高〈前年度比〉



財政調整基金	≪積立6億7,741万円、取崩4億円≫	34億645万円 31億2,904万円
減債基金	2億4,285万円 2億5,102万円	≪積立1,183万円、取崩2,000万円≫
地域福祉基金	1億8,689万円 1億8,647万円	≪積立42万円、取崩0円≫
国民健康保険特別会計財政調整基金	3億6,131万円 3億6,045万円	≪積立2,586万円、取崩2,500万円≫
介護保険給付費準備基金	3億1,344万円 3億3,791万円	≪積立4,709万円、取崩7,156万円≫
肉用牛導入事業基金	602万円 601万円	≪積立1万円、取崩0円≫
公共用地取得基金	1,011万円 1,009万円	≪積立2万円、取崩0円≫
森林環境譲与税基金	3,720万円 2,660万円	≪積立1,592万円、取崩532万円≫
公共下水道事業債償還基金	2,032万円 1,846万円	≪積立186万円、取崩0円≫
合　計	積立7億8,043万円 取崩5億2,188万円	45億8,460万円 43億2,605万円

町債現在高〈前年度比〉



一般会計	起債額 3億8,400万円 償還額 4億9,390万円	41億1,731万円 42億2,721万円
下水道事業会計	起債額 5,410万円 償還額 1億2,326万円	19億8,085万円 20億5,001万円
合　計	起債額 4億3,810万円 償還額 6億1,716万円	60億9,816万円 62億7,722万円

第5回　9月定例会の審議内容

議案書はこちらから
読み込めます。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果	関連ページ
認定第1号	令和7年度階上町一般会計及び各特別会計決算の認定について ※一般会計と3つの特別会計、合わせて4件を決算の認定に付するもの	認定	2~5、12~14
認定第2号	令和7年度階上町下水道事業会計決算の認定について ※下水道事業会計決算の認定に付するもの	認定	4
報告第1号	令和7年度健全化判断比率の報告について ※令和7年度の健全化判断比率として算定した「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」及び「将来負担比率」について、報告するもの	報告のみ	4
報告第2号	令和7年度資金不足比率の報告について ※令和7年度の資金不足比率について、報告するもの	報告のみ	4
議案第1号	階上町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について ※民法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	原案可決	－
議案第2号	階上町乳幼児医療費給付条例等の一部を改正する条例の制定について ※社会保険診療報酬支払基金法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	原案可決	－
議案第3号	階上町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について ※青森県重度心身障がい者医療費助成事業実施要領の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	原案可決	－
議案第4号	令和8年度階上町一般会計補正予算（第4号） ※既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ6,176万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を65億4,395万1千円とするもの	原案可決	7
議案第5号	令和8年度階上町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） ※既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ1,215万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を14億5,410万1千円とするもの	原案可決	7
議案第6号	令和8年度階上町介護保険特別会計補正予算（第2号） ※既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ4,433万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を14億5,225万6千円とするもの	原案可決	7
議案第7号	令和8年度階上町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ※既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ812万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億1,463万4千円とするもの	原案可決	7
議案第8号	道仏集会所移転新築工事請負契約の締結について ※道仏集会所移転新築工事請負契約を締結するもの	原案可決	7
議案第9号	物品の買入れについて ※教育用タブレット端末を取得するもの	原案可決	7
議案第10号	階上町ふるさとにぎわい広場に係る指定管理者の指定について ※階上町ふるさとにぎわい広場の指定管理者を指定するもの	原案可決	7、14
議案第11号	はしかみハマの駅あるでぃ~ばに係る指定管理者の指定について ※はしかみハマの駅あるでぃ~ばの指定管理者を指定するもの	原案可決	7
議案第12号	人事擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて ※1人の委員の任期満了に伴う後任の委員を選任するもの	原案可決（同意）	7

補正予算の概要

▽（議案第４号）８年度一般会計（第４号）

【歳入】繰入金３７２０万７千円を減額し、県支出金６００万円、繰越金９２４４万４千円等を追加。

【歳出】８年６月25日に発生した地震により被災した町内中小事業者の復旧支援のため、※中小企業被災事業者復旧支援事業費補助金７５０万円、庁舎施設備品６９６万６千円、町企業誘致奨励金１１０万５千円、鳥獣被害防止対策事業費１９８万４千円等を追加。



地震発生後の庁舎内事務室

▽（議案第５号）８年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）

【歳入】繰入金３００万円を減額し、繰越金９８４万円、諸収入４７２万９千円等を追加。

【歳出】保健事業費１１７万２千円、諸支出金９９７万１千円等を追加。



鳥獣被害防止対策用品

▽（議案第６号）８年度介護保険特別会計補正予算（第２号）

【歳入】支払基金交付金２６３万４千円、繰入金４０７０万２千円、繰越金１００万３千円を追加。

【歳出】予備費２千円を減額し、基金積立金２６３万４千円、諸支出金４１７０万７千円を追加。

▽（議案第７号）８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）

【歳入】繰越金８０２万６千円等を追加。

【歳出】後期高齢者医療広域連合納付金７０２万円等を追加。

その他の概要

▽（議案第８号）道仏集会所移転新築工事請負契約の締結について

契約額　１億５２５０万８４００円

相手方　株式会社沼建設



道仏集会所イメージ図

▽（議案第９号）物品の買入れについて

名称　教育用タブレット端末

数量　８５０台（附属装置一式）

買入金額　５７０３万５千円

相手方　株式会社ビジネスサービス八戸支店



タブレット端末更新作業の様子

▽（議案第10号）階上町ふるさとにぎわい広場に係る指定管理者の指定について

団体の名称　株式会社オダカネ

指定期間　９年４月１日から14年３月31日まで

▽（議案第11号）はしかみハマの駅あるでぃ～ばに係る指定管理者の指定について

団体の名称　有限会社マルタマ横道商店

指定期間　９年４月１日から12年３月31日まで



7月に開催された「階上生うに祭り」の様子

▽（議案第12号）人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

小田勝子（おだかつこ）氏の推薦に同意。（初推薦。法務大臣からの委嘱期間は、９年１月１日から11年12月31日までの予定。）



小田　勝子（おだ　かつこ）氏

※階上町中小企業被災事業者復旧支援事業費補助金

地震により被害を受けた中小企業者の事業再開・事業継続を支援するため、事業用施設設備の復旧（修繕・取得）に要する経費の一部を補助。

▪補助対象者

(1)８年６月25日発生の地震により、事業用施設設備が被災し、階上町内で事業を再開しようとする中小企業者

(2)公的機関発行の被災を証明する書類（被災届出証明書等）の交付を受けている者ほか要件を全て満たす者

▪補助率　３分の２

▪補助額　10万円以上500万円以下（上限500万円）

▪申請期間　８年10月20日から９年３月１日まで

▪提出先　産業振興課窓口

詳細はこちら

第4回臨時会

8年8月7日に召集された8年第4回臨時会では、議案1件が上程され、審議の結果、全会一致で可決されました。

■補正予算
▽8年度一般会計補正予算（第3号）
【歳出】

8年6月25日に発生した岩手県沖を震源とする地震により被害を受けた施設等への対応分。

総務費に庁舎書庫更新工事644万4千円、凍結防止剤のタンク修繕工事194万7千円、金山沢水郷館修繕工事165万円等を追加。

質疑あれこれ

大下　修　議員

問 ①今回なぜ専決処分ではなく臨時議会開催か。②補正予算全て地震に関することか。③財源は全て町の一般会計からで、今後もこの地震に関する国・県からの支援がないことの理解でよいか。同じような被害がある八戸市も同様か。④庁舎書庫更新工事は移動式書庫と伺っているが、庁舎のどこにあるものなのか。地震によるのであれば復旧、修繕になるが更新でよいか。⑤地震関連予算全体の執行方法は。

答 総合政策課長

①専決処分は議会を招集する時間的余裕がない場合に行うもので、今回は緊急対応は既決予算および予備費で対応、本格的な復旧工事は本臨時会を開催して審議が可能であったことから補正予算として提案した。②今回の補正予算は復旧工事に必要なものを計上。③現時点では今回の補正予算に計上した復旧工事については活用できる災害復旧の補助制度等は確認されていない。八戸市の状況は現時点において把握していない。⑤全体での方法ではなく各施設ごと、各課ごとに執行。入札、ものによっては随意契約も含む形で行う。

答 総務課長

④場所は税務課の元診療所側の書庫の中に備え付けで手動で回転、移動する大型の書庫。大きさはレールの長さは約6・6m、高さ約2・7m、幅は約2m、列は9列。主に土地台帳、住民票など重要な紙の書類を保管するもの。現在のものと同等のものを交換するため更新とした。


更新された書庫

一般質問 ここが聞きたい



会議録はこちらから読み込めます。

第5回定例会では3議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 小坂　正年 議員　9ページ

1　町の人口減少対策は
2　町の祭りの創設は

■ 土橋　美加佐 議員　10ページ

1　町の不登校児童生徒の現状と対応は
2　町政運営における『対話』の現状と今後の取り組み姿勢は
3　現在の民俗資料収集館また旧給食センターの今後の活用性は

■ 中島　孝一 議員　11ページ

1　がん患者に対する2つの助成事業について
2　都市計画道路の現在の進捗状況と今後の進行予定について
3　町内の集落間を結ぶ町道の草刈りや清掃等の実施状況と維持管理方針について
4　県から発注される工事について

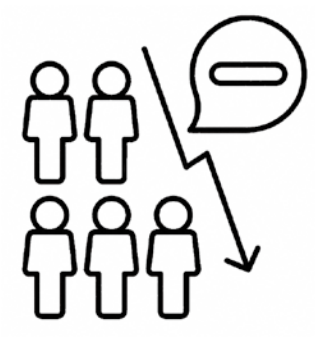


小坂（こさか） 正年（まさとし） 議員

階上町の人口減少対策

〔町長〕雇用の場の確保は極めて重要

問① 私もいろいろ考えることがあり、関東方面に出ている若い人に階上町にUターンする気がないのか聞くことがあるが、必ず出てくるのが階上町に戻っても仕事がないと言われる。地元の業者に頑張っていただき、雇用も増やしていただけることが一番いいのではないか。若い方が町に戻り、結婚をして子どもが生まれ、人口が増えていくことが大事だと考える。町の人口を増やしていくために地元の業者を育てていくつもりはないか。



答① 町長

地域の雇用と経済を支える地元事業者の育成や経営基盤の強化は重要な取組みであると考えている。公共工事による経済効果をできる限り地域内に循環させることは、地元事業者の育成や雇用の確保につながることから、可能な範囲で町内事業者の活用が図られるよう促してまいりたい。地元事業者の健全な育成と受注機会の確保、さらには地域における雇用の創出につながる入札・契約制度の在り方について検討してまいりたい。

地域の活性化を目指して 町の祭りの創設を！

〔町長〕町民相互の交流や連帯感を深める

問① 8月、9月になれば、他町村の祭りのニュースがテレビ・新聞等に毎日のように入る。高校・大学を卒業して地元を離れた人達が祭りのために集まってくる様を見て、そのようなものがこの階上町にはないような気がする。何か事を始めるのはなかなか難しいことだと思う。誰が先頭に立ち進めていけばいいのか分からないが、祭りを作り町を活性化する考えはないか。

答① 町長

新たな祭りを創設するためには、継続して運営するための担い手や実行組織の確保、安全対策、財源の確保、既存の地域行事との調整など様々な課題がある。他自治体の取り組み事例なども参考としながら、町民の皆様が本町への愛着と誇りを持ち、地域のつながりにぎわいが生まれる取り組みについて、引き続き調査研究してまいりたい。

問② 駅前町内会では階上駅開業100周年記念事業をきっかけとして、かぜ・まち・ひと　マルシェを開催していると伺った。どのような内容で、また町としての関わりを伺う。



「かぜ・まち・ひと　マルシェ2026」の様子



答② 総合政策課長

かぜ・まち・ひと　マルシェは、6年11月開催の階上駅開業100周年記念事業をきっかけに、地域の皆様が主体となって始めたイベントである。7年度は地域おこし協力隊員が企画、道仏神楽、音楽ステージ、飲食などの出店、子ども向けスペースなど、幅広い世代が楽しめる内容となっている。町の関わりは地域の自主的な取り組みを尊重し必要な支援を行っている。



土橋（どばし） 美加佐（みかさ） 議員

不登校児童生徒の現状と対応策

〔教育長〕誰一人取り残さない居場所と学びの機会の確保に取り組む

問① 7年度における町の不登校児童生徒は小学生26人、中学生は22人と伺っている。①現状認識と初期対応について、各学校長からの意見聴取をどのように進めていく考えか。②今後の対策として環境整備および居場所の確保について伺う。③学校評議員との法的な役割の違いを踏まえ、導入準備委員会の設置やモデル校での施行など、どのような手順で不登校児童生徒の地域での見守り体制に生かしていくのか。④今後の対策として学びの機会の保障について、自宅または校内別室、さらには社会教育複合施設などのサードプレイスにいる子ども達に対し、一人一台のタブレット端末を活用した学習機会をどのように確保していく考えか。

答① 教育長

①初期対応の強化に向け、日々子ども達や保護者と直接向き合っている各学校長から、現場の実態や課題、真に必要な支援について意見聴取し学校と教育委員会が同じ歩調で課題解決に取り組んでまいりたい。②教育的配慮および実生活に即した観点に基づき学区外就学の許可要件の見直しを行い6年12月から運用。整備を進めている社会教育複合施設は新たな居場所、サテライト型拠点として最大限に活用できるよう検討してまいりたい。③既存の学校評議員会等を基盤として発展解消・統合させる形で学校と十分に相談し丁寧な準備期間を設け、段階的・計画的な導入を図る。④一人一台端末を活用した自宅等での自主学習のみならず、一定の要件を満たす場合は、指導要録上の出席扱いを積極的に認定・評価し、子ども達の学習意欲の維持と将来の進路を選択する機会の保障につなげていきたい。

町政運営における『対話』の現状と今後の取り組み姿勢

〔町長〕町民の皆様と顔を合わせお話を伺う機会を大切に

問① 町長自身における対話の実現度の自己評価を伺う。7年12月に行われた町長選挙の結果について、信任を得られた一方で、過半数以上が現職以外の候補に投じた事実を、聴く力・見る力としてどのように捉え対話姿勢にどう反映されるか伺う。2期目において町民と町職員が深く向き合う対話の場をどのように創出し、町づくりに生かしていく方針か伺う。

答① 町長

全ての町民の皆様と直接お話しすることは難しく対話の機会が十分に無かった面もあると認識している。行政からの情報発信にとどまることなく、地域に足を運び町民の皆様と直接顔を合わせてお話を伺う機会をこれまで以上に大切にしてまいりたい。職員も地域に出向き、町民の皆様との対話を積み重ねてまいりたい。

問② 2期目が本格的にスタートした今こそ、かつて行われていた地区懇談会を各地域で再開、開催する考えはないか。

答② 町長

地区懇談会は、地域の課題や町民の率直なご意見を直接お聞きするための一つの方法であると認識している。今後の町民との対話の在り方を考える中で、開催するかどうかも含め必要性や実施方法などについて検討してまいりたい。

民俗資料収集館・旧給食センターの今後の活用性

〔町長〕公共施設の在り方について検討を進めている

問① 民俗資料収集館は59年の歳月が経ち、旧給食センターも同様、大規模な自然災害がいつ起こるかわからない状態で建物崩壊が危惧される。社会教育複合施設の整備が進む中、完成時にはどうするのか。町所有地に建つ旧給食センターを今後どのようにするのか。

答① 町長

館内に保管・展示している文化財等の移管を進め、複合施設供用開始の12年度までに廃止し、建物を解体する方針。旧給食センターは今後本格的な利用見込みがない状況。敷地全体の安全性、周辺環境への影響を勘案し、建物解体について検討を進める。



中島（なかしま） 孝一（こういち） 議員

がん患者支援を!ウィッグ購入助成を問う

〔町長〕具体的な制度設計に取り組む

問① 医療用ウイッグや胸部補整具等の購入費助成事業について、辛い治療を克服した町民に優しい町であるよう実施いただきたい。

答① 町長

9年度からの開始に向けて、具体的な制度設計に取り組んでまいりたい。

問② がん検診初回精密検査費助成事業は、早期発見・早期治療に向けた支援策である。県と町で実施している事業の概要を伺う。

答② 町長

7年から県の事業を活用し本事業を実施している。対象は町が実施する胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がんの五つのがん検診で、要精密検査と判定された69歳以下の方が初めて精密検査を受診する場合、その費用の一部を助成するものである。

都市計画道路の行方を問う

〔町長〕今後の町づくりとの整合性を図る

問① 都市計画道路の進捗状況と今後は。

答① 町長

1路線が整備済みで、残る10路線については、当初計画の経緯を踏まえつつ、現在の人口、土地利用、交通状況、町民ニーズを考慮し、改めてその必要性や整備の優先度を検討していく必要があり、今後の町づくりの方向性との整合を図りながら、適切な時期を見定め整備の必要性や計画の見直しを検討していく。



問② 居住誘導区域外において居住地の広がりが進んできている。都市計画から27年が経過し、人口減少は進み土地利用や町民ニーズが大きく変化している。今後の町づくりを考え、規制地域の設定や用途地域の追加や見直しを検討する考えはないか。

答② 建設課長

現在は新築住宅補助金などで居住誘導区域内への誘導を進めている。用途地域についても、現在の指定が今後の町づくりに適合しているかを検証し、必要に応じて追加や見直しを検討する必要があると考えている。今後の人口や土地利用の状況を見極めながら検討時期を判断したい。

集落間道路の草刈りや清掃はどう進む

〔町長〕町の対応も考える

問① 町道において、集落内の道路は各行政区の活動などにより維持されているが、集落間の道路は少子高齢化や人口減少で地域の手が及ばない状況にある。今後は町が主体となって草刈りを行うなど町の役割を広げる考えは無いか。

答① 建設課長

集落間の道路など地域だけでの維持管理が難しい箇所については、道路パトロール等により状況を把握し、交通への支障や安全性を踏まえ、町が主体となって対応することも必要と考えている。今後も協働のまちづくりを進めながら、安全安心な道路環境に努めたい。

県から発注される工事状況

〔町長〕引き続き要望する

問① 県が町内で発注する工事の町内建設業者の受注状況は。県に対する働き掛けは。

答① 町長

8年度の落札結果による町内での県発注工事は件数で14件、金額で約4億6800万円、町内建設業者の落札件数は10件で金額は約2億3900万、件数で約7割、金額で約5割であった。県の出先機関に対しお願いしてきており、今後も引き続き町内事業者の受注機会の確保の働きかけや県事業の事業化について要望していく。

質疑あれこれ

第5回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

7年度一般会計決算の認定

渡部　髙明　議員

◆地域おこし協力隊活動事業費

問 ①869万2千円の財源は特別交付税であると思うが、その要件は。②洋野町や南部町、五戸町と本町とでは協力隊の受け入れについて制度上の違いがあるのか。③三戸郡の町村など過疎地域に指定されている一方でなぜ本町はこの過疎地域に指定されていないのか。

答 総合政策課長

①地域おこし協力隊の特別交付税措置は、国が定める地域要件として東京圏や大阪圏などの※三大都市圏から本町へ転入した方を受け入れる必要がある。②制度上の大きな違いは、特別交付税措置の対象となる転入元の範囲。本町は原則として※三大都市圏からの転入でなければ特別交付税措置の対象とならない。一方三戸郡の各町村や洋野町などは過疎地域などの条件不利地域に指定されているため、八戸市などの地方都市や仙台市などの地方の政令指定都市からの転入も一定の要件のもと特別交付税措置の対象となる。③人口の減少率や財政力などの基準により判定。特に人口要件は現在の人口だけではなく、過去の一定期間における人口減少率などが基準となっている。人口減少や少子高齢化が進んでいるが、過去からの人口推移を含めた国の基準には該当していないため、過疎地域には指定されていない。

※東京・大阪・名古屋都市圏

中島　孝一　議員

◆地域おこし協力隊活動事業費

問 協力隊の概要、活動の状況とその成果は。

答 総合政策課長

階上駅前の旧味噌蔵を活用した「わたしの素ペース」を活動拠点として地域のにぎわいづくりに取り組んでいる。これまで全国のパンを集めた販売企画や町内事業者と連携したイベント、味噌作りやZINEづくりのワークショップなど、地域の皆様が参加しやすい様々な企画を実施。また「かぜ・まち・ひと　マルシェ」への参画や映画上映会の開催、高校生のボランティア受け入れ、小学生の町探検への協力など幅広い世代が交流する機会も作っている。こうした活動により階上駅前に新たな交流の場が生まれ、町内外から人が訪れるなど地域のにぎわいにつながっている。さらにテレビやラジオなどを通じて町の魅力や地域資源を発信するとともに、合同会社の設立やゲストハウスの開業準備など任期終了後を見据えた活動にも取り組んでいる。



わたしの素(す)ペース

◆障害者福祉費

問 8件の施策の対象者に対する制度の案内、対象者の把握、通知、給付までのシステムは。

答 介護福祉課長

地域生活支援事業費のうち日常生活用具給付費、補装具給付費は病院や用品取り扱い業者からの制度紹介により申請。育成医療給付費、更生医療給付費は病院で診断書を作成し申請。重度心身障害者医療費は障害者手帳取得の際に、療養介護医療給付費、自立支援給付費、障害児施設措置費(給付費等)事業費、地域生活支援事業費のうち日中一時支援事業給付費はサービスが必要なときにご家族が申請。個々の状況に応じて障害者の方が通っている学校、病院、相談支援事業所など関係機関と町が連携し支給決定を行い、障害者に必要なサービスを提供する。施設入所等の方には町が更新申請の案内を出し、日中一時支援等利用者には事業所がご家族に更新申請を促すなどしている。

◆児童福祉費

問 6件の施策の対象者に対する制度の案内、対象者の把握、通知、給付までのシステムは。

答 すこやか健康課長

ひとり親家庭医療給付事業費は離婚等によりひとり親となった際に申請。児童手当費は出生届の際に申請を受け付け、認定後手当を支給。子どものための教育・保育給付費および子育てのための施設等利用給付費は保育施設等の利用を希望する際に申請。妊婦のための支援給付事業費は妊娠届出時および出生届出時に申請を受け付け給付。

◆予防接種委託料

問 予防接種の案内・把握・通知・給付の方法は。

答 すこやか健康課長

乳幼児は出生届の際に予防接種に関する冊子と予診票を交付し接種時期等を案内。麻疹・風疹二種混合、日本脳炎、子宮頸がんワクチン、高齢者の肺炎球菌および帯状疱疹ワクチンなど接種年齢が定められているものは、対象年齢に到達した際に個別通知。委託医療機関にも本町の予診票を常備し医療機関から接種の案内や勧奨が行われる場合もある。

◆母子保健事業費

問 6件の施策の対象者に対する制度の案内、対象者の把握、通知、給付までのシステムは。

答 すこやか健康課長

妊婦健診検査委託料、産婦健康診査委託料は、妊娠届出時に受診券を交付し医療機関で受診。乳幼児健診検査委託料は、出生届出時に各種受診券を交付し、乳児健診1歳6カ月児健診および3歳児健診は対象児に個別通知。産後ケア事業委託料は、希望者から申請を受け付け決定。乳幼児医療給付費は、出生時に申請を受け付け受給者証を交付。未熟児医療給付費は、医療機関から提出された意見書等をもとに保護者から申請を受け付け養育医療券を交付。これらの事業は、広報、ホームページおよびスーパーアプリへも掲載し、案内チラシ等を作成するなど対象者への周知に努めている。

◆産地生産基盤パワーアップ事業交付金

問 ①本事業の対象となった事業者の概要と事業の状況は。②町としてこれからの本事業に対する考えは。

答 産業振興課長

ミニトマトの生産・販売に取り組む株式会社で、代表者は令和元年度に個人として新規就農、その後株式会社を設立し経営規模を拡大、今回の事業に取り組まれた。総事業費約3億5千万円、約5265㎡の高軒高低コスト耐候性ハウスを整備、養液栽培設備や統合環境制御システムなどを導入。県からの補助金1億5598万9千円を交付。冬から春にかけての出荷や周年栽培が可能となり、安定的な出荷や市場における優位性の確保につながっている。雇用面では、フルタイム人材として日本人1名、特定技能制度を活用した外国人2名を雇用。さらに近隣の就労支援事業者と連携、日々5名から10名程度の利用者に栽培管理作業を委託するなど福祉分野との連携による就労機会の創出にもつながっている。今後は県や関係機関と連携し産地の生産基盤の強化を図り、取り組みから得られる知見やノウハウを他の農業者や新規就農者の経営発展にもつなげ、本町農業の収益力強化と産地としての魅力向上に取り組みたい。

◆部活動地域移行事業費

問 7年度はどこまで進んでいるのか。また運営事業者は。

答 教育課長

町教育委員会が事業主体となり、受託事業者として一般社団法人ライズはしかみが運営を担い地域と連携した持続可能な受皿づくりを推進している。7年10月に野球部を階上ベースボールクラブへ平日・休日ともに移行、8年度は男子バスケットボール部についても階上クラブアンダー15への移行を完了。今後は、女子ソフトテニス部について9年度以降に地域クラブへ円滑に移行できるよう、現在地域指導者、関係者との協議を進めている。その他の部活動も指導者が見つかり次第速やかにクラブ移行に向けた具体的な協議に入るなど、県の方針に沿って段階的に移行を進めたい。



◆社会教育複合施設整備事業費

問 7年度の基本設計進捗状況は。開館まで3年以上、民俗資料の保管、記録、整理など、展示に向けた準備作業の進め方は。

答 教育課長

基本設計は8年3月末で完了。民俗資料については、9年度に学芸員資格を有する会計年度任用職員を採用、1年間を通して集中的に資料の記録・整理、移動作業を行い、埋蔵文化財や指定文化財など特に貴重な資料は専門業者へ、それ以外の資料は町内業者へ委託の上、安全かつ適切に運搬したい。複合施設への移管を予定している埋蔵文化財、民俗資料、地域資料等は旧階上小学校へ、その他の資料は金山沢水郷館へ移動する。複合施設開館までの期間における資料見学の要望は旧階上小学校において対応したい。複合施設開館後は金山沢水郷館に収蔵されている資料の活用を図りながら定期的な展示替えを行いたい。

森　榮吉　議員

◆森林環境譲与税基金積立金

問 7年度末基金現在高によると3720万3千円の積立金となっている。今後の使途計画は。

答 産業振興課長

森林経営管理意向調査を地区ごとに順次進めており7年度は蒼前地区と角柄折地区を実施。8年度も鳥屋部地区の調査を予定。この調査結果を基に経営管理権集積計画の作成につなげたい。公益保全林整備事業は人工造林や下刈りなどの森林施業に対し森林整備の促進に重点を置いた施策に計画的に活用。森林経営管理制度に係る森林現地調査やナラ枯れ被害対策に係るナラ林分調査なども同様に推進したい。

◆水産振興事業費補助金

問 水産振興協議会への補助金の主な事業内容のうち藻場環境対策に対する具体的な額、場所、費用対効果等は。

答 産業振興課長

ロープに昆布の胞子を植え付けるドブ漬けという手法で費用の一部3万円を補助。実施場所は小舟渡漁港内。平成30年度から継続して実施し、現場での増殖技術が着実に確立され、近年深刻化している磯焼け対策としても有効な手段として機能している。ドブ漬けにより育ったコンブをウニが生息する区域へ移設し、その後サンプルのウニを採取し確認したところ、実入りが良くなっているという確かな成果も得られている。



ドブ漬けの作業の様子

百目木　和俊　議員

◆町の借地契約の見直し

問 役場周辺、つつじの森、ふるさとにぎわい広場、ふるさと河川公園など借地契約の状況が記載されている。町で借入している土地については、長期にわたる債務となるため、計画的な買取を検討するなどの考えはないか。

答 総合政策課長

今後も長期的な利用が見込まれ取得することが財政面で有利な土地や補助制度など有利な財源を活用できる土地は、地権者の意向も踏まえ契約更新などの機会を捉えて積極的に取得を検討していく。

7年度国民健康保険特別会計決算の認定

熊谷　道雄　議員

◆努力支援制度対象事業委託料

問 事業内容は。

答 すこやか健康課長

特定健診受診率向上対策事業業務委託料は過去の健診や医療機関への受診状況などのデータを分析し、AIを活用して対象者の特性や未受診理由に応じた受診勧奨通知を作成・発送。国保ヘルスアップ事業業務委託料は特定健診結果をその後の健康づくりにつなげるための事業で、健診結果説明会、運動教室、食生活改善教室、生活習慣病予防教室などを実施、参加勧奨や講師の派遣、健康測定などの業務を委託。



運動教室の様子

議案第10号　階上町ふるさとにぎわい広場に係る指定管理者の指定について

渡部　髙明　議員

問 ①指定管理者の選定、指定の手続について、条例における選定委員及び選定の方法などを伺う。②今後議会や町民などの外部委員を選定委員に加える考えがないか。

答 総合政策課長

①副町長を委員長とし庁内の各所属長を委員とする選定委員会を設置。選定は応募者から提出された事業計画書等についてあらかじめ定めた審査基準に基づき書類審査やヒアリング審査を行っている。8年4月1日付けで条例施行規則の改正により、必要に応じて学識経験者などの専門家から意見を聴くことができる仕組みを設けた。今回の選定は地域経営やマーケティングの専門家に募集要項や審査要項の確認のほか、専門的な見地から意見や助言をいただいた。②今回構築した仕組みを一定期間運用し、効果や課題を検証していくことが重要。その上で他市町村における選定委員会の構成や外部委員の登用状況なども調査し、必要性やその効果、課題等について調査・研究してまいりたい。

議 会 活 動

8 月

7日　議会運営委員会
7日　第4回臨時会
7日　議員全員協議会
28日　議会運営委員会
28日　階上町立小中学校校長、教頭歓送迎会

9 月

4日　第5回定例会本会議
4日　議員全員協議会
9日　産業建設常任委員会
8日　第5回定例会本会議
9日　第41回町シニアスポーツ大会
11日　第5回定例会本会議
16日　八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
17日　第50回階上町小学校防犯弁論大会
18日　教育民生常任委員及び町教育委員と町立小中学校長による意見交換会
25日　山形県金山町議会による行政視察
29日　第49回青森・岩手県境交通安全推進大会

10 月

1日　八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
2日　議会だより編集委員会
3日　第41回にんにくとべごまつり
5日　町表彰審議会
11日　第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」自転車（ロードレース）競技会
15日　郡町村議会議員研修会
16日　議会だより編集委員会
18日　青森県消防操法大会優勝祝賀会及び全国消防操法大会壮行会
21日　正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長研修会
23日　議会だより編集委員会

※議長交際費の執行状況は町ホームページにおいて公表しております。

大下修議員に対する厳重注意

8年8月7日開催の議会議員全員協議会での決定に伴い、議会の総意として次のとおり議長より文書で厳重注意がなされました。

令和8年7月15日付けで発行された「大下おさむ議会だより　No 4」については、不適切な内容、さらには町民に関する個人のプライバシー情報として保護されるべき内容が掲載されているものと認められる。

個人のプライバシー情報については、いかなる者であっても本人の同意なく公表するものではなく、「大下おさむ　議会だより　No 4」と表して不特定多数の町民に対し広く流布されたことは、議員活動の範疇を越えた不適切な行為であり、誠に遺憾である。

今後は、階上町議会基本条例に定める議員の活動原則及び議員の政治倫理を遵守するとともに、二度とこのようなことがないようにすること。

なお、本件については、町議会発行の議会だよりに掲載することを申し添える。

令和8年8月7日
階 上 町 議 会

木村　勝彦元議長逝去

元町議会議長の木村勝彦さん（83）が、9月2日、ご逝去されました。

平成3年4月から24年間議員として、平成23年5月から約4年間第16代議長として、町勢の発展に多大なるご貢献をされました。

また平成24年8月から約10か月間、三戸郡町村議会議長会会長として、郡内町村議会の連絡協調と振興発展にご尽力されました。

ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

議 会 活 動

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」自転車（ロードレース）競技会

10月11日、階上町で開催された第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」自転車（ロードレース）競技会において、長根岩夫議長が出発式のスターターを務めました。



教育民生常任委員及び町教育委員と町立小中学校長による意見交換会

9月18日、教育民生常任委員及び町教育委員と町立小中学校長による意見交換会が行われ、児童生徒の状況や教育環境等についての意見交換を行いました。





郡町村議会議員研修会

10月15日、田子町で開催された「郡町村議会議員研修会」に議員9名が参加しました。

■講師　株式会社あおいもりトレーディング
　　代表取締役　五十嵐　孝直　氏
■演題　「地域おこしの先に、何を残すのか」
　　～地域おこし協力隊から起業へ。
　　田子町での挑戦と事業づくり～



県町村議会議長会　正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長研修会

10月21日、青森市で開催された「正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長研修会」に、議員5名が参加しました。

■講師　東京大学大学院法学政治学研究科教授
　　金井　利之　氏
■演題　議員の品格（品質）と議会定数のあり方



議会だより編集委員会



◇今月号の編集委員（3人）
・中島　孝一　議員（産業建設）
・下沢　育男　議員（教育民生）
・渡部　高明　議員（総務財政）

議会傍聴者数（延べ人数）

第4回臨時会
8月　7日（ 3人）
第5回臨時会
9月　4日（ 4人）
9月　8日（13人）
9月11日（ 6人）

編集後記

本号は7年度決算についての質疑、町政全般についての一般質問を中心に編集しています。

青森県で49年ぶりの国スポ、階上町では初の正式競技となる自転車競技会も開催され、議会も積極的に前進したいと思っております。

（渡部・下沢・中島）



発行／青森県階上町議会　〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87　年4回発行　令和8年11月10日発行
編集／議会だより編集委員会　☎0178-88-2369（直通）　FAX 0178-88-2117　URL https://www.town.hashikami.lg.jp
はしかみ議会だよりは4,400部作成し、印刷経費は45.5円／部です。